

## 領域別項目対照表

大学院名: 東京\*\*大学大学院

■科目番号と項目番号

研究科名: 教育学研究科

別紙「科目番号と項目番号」を参照し、下表の科目番号項目番号欄に記入してください。

担当者名: \*\*\*\*

記入例 1-(1)、実1-(1)

科目名: 臨床心理学特論(I)

No.	授業スケジュール	主な内容	科目番号 項目番号	(認定委員会記入欄)
1	臨床心理学の定義及びその課題	臨床心理学の歴史、考え方、対象、課題等について概括的な講義を行う。本講義全体のガイドも兼ねる。		
2	臨床心理学的アプローチ	精神分析的アプローチ、行動主義的アプローチ、人間性心理学的アプローチ等、臨床心理学の主だったアプローチについて解説する。	4-(3)	
3	子どもの発達と臨床的働きかけ	子どもへの臨床的働きかけと大人への働きかけの相違、発達の諸相と問題行動、問題行動理解の方法等について解説する。	4-(1)	
4	臨床的アセスメント(I)	発達と能力のアセスメント、心理アセスメントの歴史と発展、心理検査の実際等について事例に即して解説する。	4-(2)	
5	臨床的アセスメント(II)	行動とパーソナリティのアセスメント、行動観察、性格検査の実際、アセスメントの留意点などについて事例の即して解説する。	4-(2)	
6	臨床心理学の対象(I)	臨床心理学の対象を理解するための枠組みとしてのDSM-IVについて解説する。外面化する問題について解説する。	4-(2)	
7	臨床心理学の対象(II)	第6回目に引き続き、内面化する問題を中心に解説する。	4-(2)	
8	学校生活と臨床的働きかけ(I)	不登校・いじめ・緘黙など小・中学校に出現する問題を中心に解説する。	4-(4)	
9	学校生活と臨床的働きかけ(II)	校内暴力・学級崩壊、非行など小学校高学年から中学・高等学校に出現する問題を中心に解説する。	4-(4)	
10	スクールカウンセリング(I)	スクールカウンセラー制度について解説し、スクールカウンセラーの任務と学校における連携の仕方について考える。	4-(5)	
11	スクールカウンセリング(II)	学校を支援するさまざまなリソースについて考えるとともに、そうしたリソースとの連携の在り方について考える。	4-(5)	
12	臨床心理学の最近の動き(I)	第2回目の講義を発展させる形で、昨今、著しい展開を見せる認知行動療法について、その特徴について解説する。		
13	臨床心理学の最近の動き(II)	特別支援教育の実施に伴い、通常の学級での発達障害の問題への取り組みが求められており、この点について解説する。		
14	臨床心理学の最近の動き(III)	臨床心理学は問題が深刻になってからの「治療」的な意味合いがつかっていたが、予防的な観点から心の健康について解説する。		
15	臨床心理学の最近の動き(IV)	臨床心理学の最近の展開について、先進諸外国の昨今の状況について解説する。		

※ シラバスを添付してください。

## H22年度 東京\*\*大学大学院（修士課程）授業科目シラバス

科目名 : 臨床心理学特論 I

担当教員 : \*\*\*\*

対象学年 : 全学年

開講学期 : 秋学期

曜日・次元 : 月曜日・5 時限

### ねらいと目標 :

この授業では、臨床心理学の理論（アプローチ）、臨床心理学的アセスメント、対象とする問題、臨床心理学の学校での展開等について解説をしてゆく。こうした講義を通して、臨床心理学的な考え方、取り分け、学校場面での展開についての知見を広めることを目的としている。最後には、最近の動向として、認知行動療法、特別支援教育、健康心理学等についても解説をする。

### 内容 :

本講義では、以下の5つの内容について講義形式の授業を行ってゆく。すなわち、(1) 臨床心理学の歴史、基本的な考え方、臨床心理学的なアプローチについて。(2) 臨床心理学的アセスメントについて。(3) 臨床心理学の対象について。(4) 学校生活に関して現れる問題とスクールカウンセラーの任務について。(5) 最近の動向、の5つである。

### テキスト

特に使用しない。随時、関連する資料を配布する。

### 参考文献

その都度、紹介する。

### 成績評価

授業への出席状況、レポート等の提出状況、最終試験等を総合して評価する。

### 授業スケジュール

(1) 臨床心理学の定義と課題、(2) 臨床心理学的アプローチ、(3) 子どもの発達と臨床的働きかけ、(4) 臨床的アセスメント I、(5) 臨床的アセスメント II、(6) 臨床心理学の対象 I、(7) 臨床心理学の対象 II、(8) 学校生活と臨床的働きかけ I、(9) 学校生活と臨床的働きかけ II、(10) スクールカウンセリング I、(11) スクールカウンセリング II、(12) 臨床心理学の最近の動き I、(13) 臨床心理学の最近の動き II、(14) 臨床心理学の最近の動き III、(15) 臨床心理学の最近の動き IV